

避難に関する情報の種類と行動の目安

警戒レベル	避難情報 (茅ヶ崎市)	とるべき行動	気象情報(気象庁) 警戒レベル相当情報
警戒レベル5	災害発生情報	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	大雨特別警報等
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	全員避難 速やかに身の安全を確保できる場所へ避難しましょう。屋外への避難が危険な場合は、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	土砂災害警戒情報等
警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報(土砂災害) 洪水警報等
警戒レベル2		避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水注意報等
警戒レベル1		災害への心構えを高めましょう。	早期注意報情報

※大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報が出た際には、河川やがけ地の近隣にお住いの方は行政の発信する避難に関する情報に注意し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。

情報の入手

テレビやラジオでの情報収集と合わせて、国交省、平塚市のHPなどのツールを活用し、いち早く情報を入手しましょう。

*茅ヶ崎市HP防災ページ

[茅ヶ崎市防災緊急情報](#)



*防災行政用無線、防災ラジオ

(屋外スピーカー放送)
避難等に関する情報を放送します。

*防災行政用無線電話応答サービス

0467-82-5555
防災行政無線の放送内容が、自動音声でながれます。

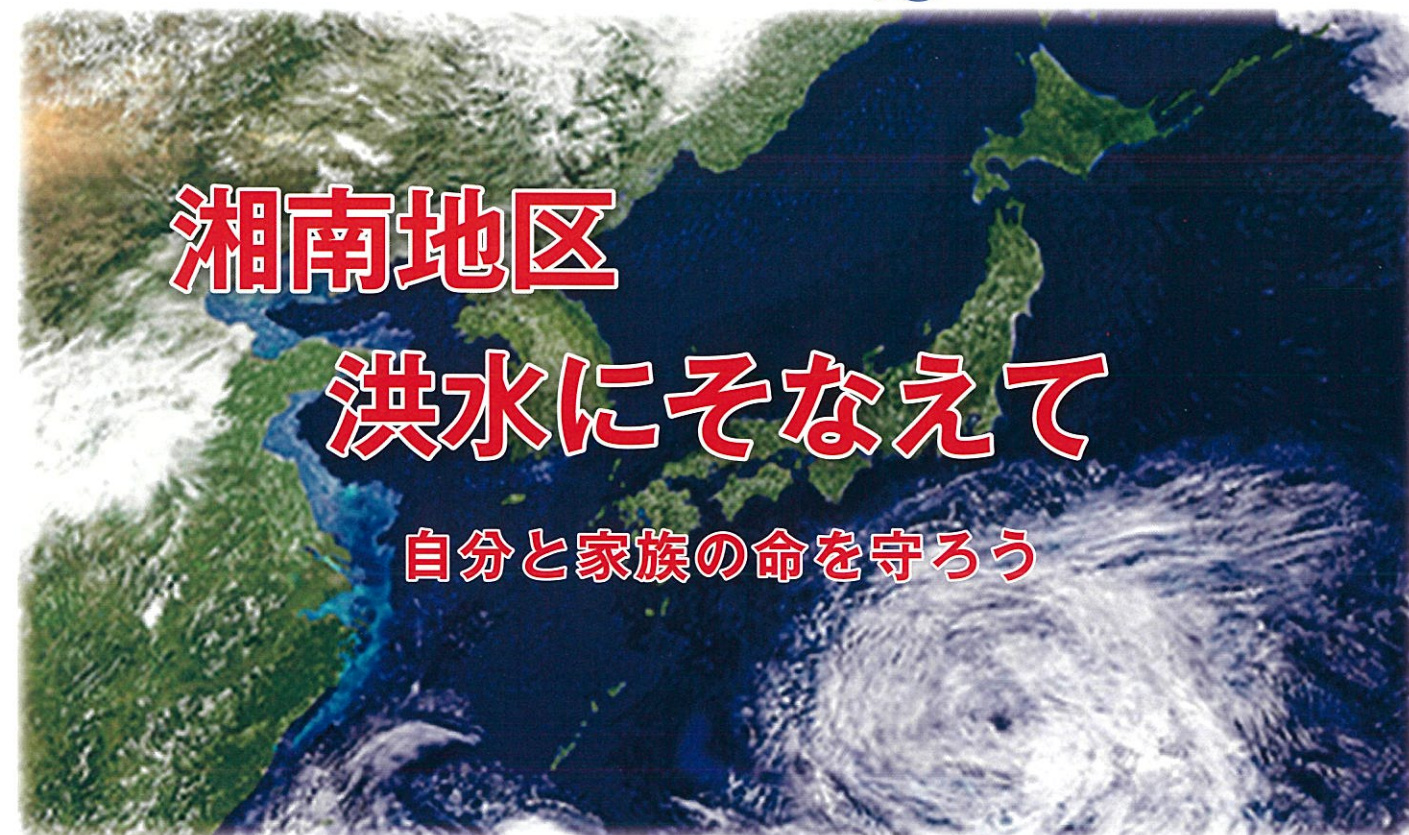
*緊急速報メール(エリアメール)

生命に関する緊急性の高い情報を特定のエリア内のスマートフォン、携帯電話に各通信事業者がプッシュ型で一斉配信するメールです。事前登録は不要です。
NTTドコモ、au、ソフトバンク等

問い合わせ先

種別	名称	電話番号
防災関連	茅ヶ崎市市民安全部 防災対策課	☎0467-82-1111(代表)
火災・救急	茅ヶ崎消防署	☎緊急時:119 問い合わせ:0467-85-4591
事件・事故・保安等	茅ヶ崎警察署	☎緊急時:110 問い合わせ:0467-82-0110

マンション住民は原則・自らのマンションの垂直避難です。



東日本各地で多数の浸水被害を出した令和元年10月の台風19号に伴う洪水は「約400年に一度」のまれな規模だとする解析結果を、京都大の研究チームが発表しました。地球温暖化がこのまま進行した場合、同規模の洪水が発生する頻度は今世紀末に「約25年に一度」までに増えるといわれています。茅ヶ崎市ではこの台風により避難された市民が8760人にのぼり、避難所が混乱する事態になりました。

さらに、令和2年7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨により大規模な洪水が起きました。こうした状況を念頭に、防災対策を強化する必要があります。自分と家族の命を守るためご家庭で十分な話し合いを持っていただければと思い洪水マニュアルを作成しました。

大規模な洪水のおそれがある場合、避難先は原則浸水想定区域外へ

居住区域	避難所	避難所の状況確認先
柳島、柳島海岸	西浜小学校	0467-82-1111
柳島一丁目、松尾、浜見平	西浜中学校	
中島、柳島二丁目	茅ヶ崎西浜高校	

マンション住民は原則・自らのマンションの垂直避難です。

このシートは、自宅周辺の災害リスクを把握し、洪水による浸水が想定される場合の避難方法、避難のタイミング等をあらかじめ確認して自らの避難行動につなげるためのものです。

茅ヶ崎市相模川洪水ハザードマップや茅ヶ崎市洪水(小出川・千ノ川及び内水版)ハザードマップでは、浸水が想定されるエリアには色が塗られています。自宅の場所に色が塗られているか確認し、色が塗られている場合は洪水ハザードマップの浸水深の目安により想定される浸水の深さを確認しましょう。

あなたの家の想定浸水深

	想定雨量 (2020.11月現在)	あなたの家の場所に 塗られている色	あなたの家の想定浸水深
相模川想定 最大規模	総雨量567mm/48h		m～ m
小出川 計画規模	総雨量239mm/24h		m～ m

調べた結果、自宅の場所は浸水が想定される場所でしたか？

はい

いいえ

最大浸水深よりも高い場所(2階以上)へ避難できますか？

はい

いいえ

同居者に高齢者や乳幼児など、
避難に時間のかかる方はいますか？

はい

いいえ

あなたがとる避難行動は 垂直避難

水深が想定される区域でも、浸水深よりも高い場所へ移動し、安全確保することで対応が可能です。自宅の2階以上にとどまることを想定し、食料・水・トイレバック等の必要な備蓄をしましょう。



あなたがとる避難行動は 水平避難

避難開始のタイミング
警戒レベル3
避難準備・高齢者等避難開始
避難準備のタイミング
避難準備・高齢者等避難開始が発令されたらすぐに避難できるよう、日ごろから準備しておきましょう。



あなたがとる避難行動は 水平避難

避難開始のタイミング
警戒レベル4
避難指示(緊急)または避難勧告
避難準備のタイミング
避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、避難できるよう、準備しておきましょう。



あなたがとる避難行動は 自宅で安全確保

洪水による危険性は低いですが停電や断水等に備えた準備が必要です。内水氾濫による住宅への浸水が発生した場合は、土のう等による浸水防止や垂直避難を中心に対応します。



※上記の「あなたがとる避難行動」はあくまでも目安です。状況に応じて適切な行動をとるようにしましょう。

自宅の備え

大雨・台風が発生する前に自宅周辺に危険なものはないか確認しましょう。特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼しましょう。

事前の対策

自宅周辺を確認しましょう

大雨・台風が発生する前に自宅周辺に危険なものはないか確認しましょう。特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼をしましょう。

アンテナなどが錆びたり緩んだりしていないか確認しましょう。

屋根瓦やスレートが剥離していないか日頃から屋根の状態を確認し、必要に応じて専門業者に修理をお願いします。

雨どいが破損していないか、また枯葉や砂が詰まっていないか確認しましょう。

物干し竿は飛ばされないよう下に降ろしましょう

割れたガラスの飛散防止のため、カーテンを閉め、窓にテープを貼るなどの対策をしましょう。

飛ばされたものが他人の家を傷つけてしまう場合があります。庭やベランダにある飛ばされやすいものは家の中にしまおうか、倒れないように固定をしましょう。(物置などの大きなものでも固定していないと飛ぶこともあります。)庭木は定期的に剪定をしましょう。

雨戸やシャッターは閉まるか確認し、台風が接近する前に閉めた状態にしましょう。

ひび割れやがたつきがないか確認しましょう。

側溝や雨水ますをふさがないように日頃から掃除しましょう。

停電・断水等に備えた備蓄と非常持出品

家族構成を踏まえて、必要なものを持ち出しましょう。

停電・断水等に備えた備蓄の例

災害発生時には停電・断水等が発生することを想定し、生活に必要なものを備蓄しておきましょう。

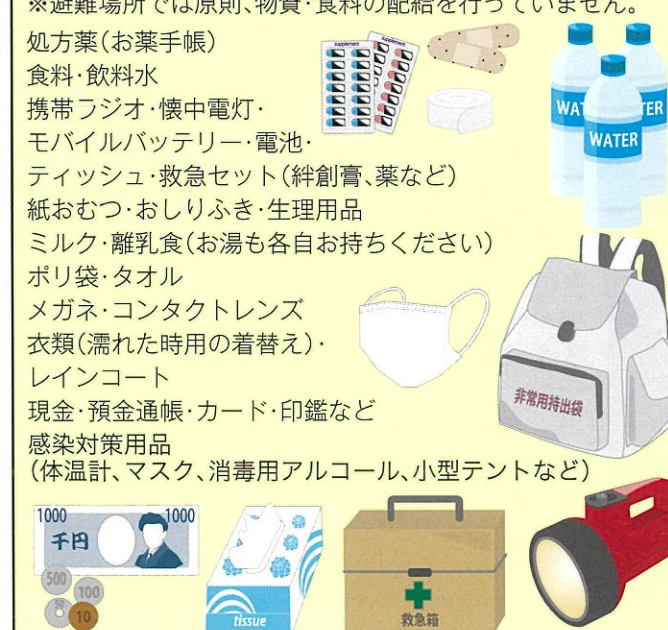
- 非常食・飲料水
- 携帯ラジオ・懐中電灯
- LEDランタン
- モバイルバッテリー・電池
- ティッシュ・トイレトペーパー
- 紙おむつ・おしりふき
- 生理用品・非常用トイレ
- 紙皿・紙コップ・ラップ
- カセットガスコンロ・ボンベ



非常持出品の例

避難するときに必要となる持出品を確認しましょう。※避難場所では原則、物資・食料の配給を行っていません。

- 処方薬(お薬手帳)
- 食料・飲料水
- 携帯ラジオ・懐中電灯
- モバイルバッテリー・電池
- ティッシュ・救急セット(絆創膏、薬など)
- 紙おむつ・おしりふき・生理用品
- ミルク・離乳食(お湯も各自お持ちください)
- ポリ袋・タオル
- メガネ・コンタクトレンズ
- 衣類(濡れた時用の着替え)
- レインコート
- 現金・預金通帳・カード・印鑑など
- 感染対策用品(体温計、マスク、消毒用アルコール、小型テントなど)



避難に関する情報の種類と行動の目安

警戒レベル	避難情報 (茅ヶ崎市)	とるべき行動	気象情報(気象庁) 警戒レベル相当情報
警戒レベル5	災害発生情報	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	大雨特別警報等
警戒レベル4	避難指示(緊急) 避難勧告	全員避難 速やかに身の安全を確保できる場所へ避難しましょう。屋外への避難が危険な場合は、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	土砂災害警戒情報等
警戒レベル3	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報(土砂災害) 洪水警報等
警戒レベル2		避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水注意報等
警戒レベル1		災害への心構えを高めましょう。	早期注意報情報

※大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報が出た際には、河川やがけ地の近隣にお住いの方は行政の発信する避難に関する情報に注意し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。

情報の入手

テレビやラジオでの情報収集と合わせて、国交省、平塚市のHPなどのツールを活用し、いち早く情報を入手しましょう。

*茅ヶ崎市HP防災ページ

[茅ヶ崎市防災緊急情報](#)



*防災行政用無線、防災ラジオ

(屋外スピーカー放送)
避難等に関する情報を放送します。

*防災行政用無線電話応答サービス

0467-82-5555
防災行政無線の放送内容が、自動音声でながれます。

*緊急速報メール(エリアメール)

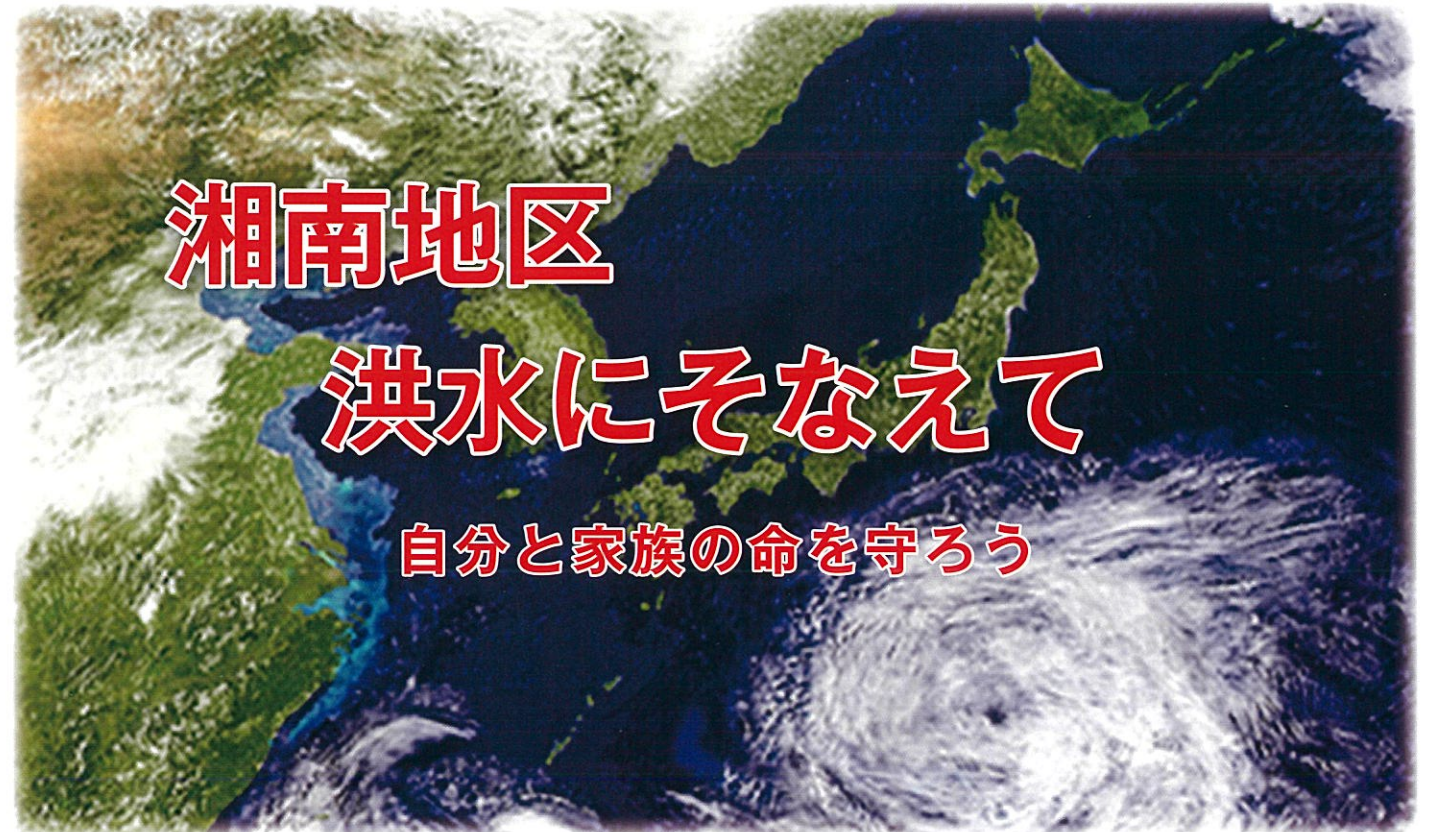
生命に関する緊急性の高い情報を特定のエリア内のスマートフォン、携帯電話に各通信事業者がプッシュ型で一斉配信するメールです。事前登録は不要です。
NTTドコモ、au、ソフトバンク等

問い合わせ先

種別	名称	電話番号
防災関連	茅ヶ崎市市民安全部 防災対策課	☎0467-82-1111(代表)
火災・救急	茅ヶ崎消防署	☎緊急時:119 問い合わせ:0467-85-4591
事件・事故・保安等	茅ヶ崎警察署	☎緊急時:110 問い合わせ:0467-82-0110

マンション住民は原則・自らのマンションの垂直避難です。

家庭用保存版(集合住宅用)



東日本各地で多数の浸水被害を出した令和元年10月の台風19号に伴う洪水は「約400年に一度」のまれな規模だとする解析結果を、京都大の研究チームが発表しました。地球温暖化がこのまま進行した場合、同規模の洪水が発生する頻度は今世紀末に「約25年に一度」までに増えるといわれています。茅ヶ崎市ではこの台風により避難された市民が8760人にのぼり、避難所が混乱する事態になりました。

さらに、令和2年7月には熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨により大規模な洪水が起きました。こうした状況を念頭に、防災対策を強化する必要があります。自分と家族の命を守るためご家庭で十分な話し合いを持っていただければと思い洪水マニュアルを作成しました。

大規模な洪水のおそれがある場合、避難先は原則浸水想定区域外へ

居住区域	避難所	避難所の状況確認先
柳島、柳島海岸	西浜小学校	0467-82-1111
柳島一丁目、松尾、浜見平	西浜中学校	
中島、柳島二丁目	茅ヶ崎西浜高校	

マンション住民は原則・自らのマンションの垂直避難です。

あなたの住む家の危険度は？

「水防法」が改正され、国土交通省・神奈川県から相模川で想定される最大規模降雨による洪水浸水想定区域図が指定・公表されました。洪水土砂災害ハザードマップでは、浸水が想定されるエリアには、浸水深により色が塗り分けられています。自宅の場所に何色が塗られているか確認し、想定される浸水の深さを確認しましょう。

あなたの家の想定浸水深は？ 2020年11月現在

相模川 想定 48 時間総雨量 567mm の時 () m ~ () m
 小出川 想定 24 時間総雨量 239mm の時 () m ~ () m

安全な近所に知人は？

上層階に避難可能な知人は？

ない / ある ()

ない / ある ()

※洪水土砂災害ハザードマップは茅ヶ崎市役所防災対策課で配布しています。
 または、茅ヶ崎市ホームページの「防災欄」でダウンロードできます。
<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bosai/1001267/1027854.html>



あなたの取るべき避難行動は？

● 2階以上に住んでいる

あなたがとる避難行動は

自宅待機

2階以上であれば、洪水による危険性は低いです。停電や断水などに備えた準備と非常用トイレなど非常時の使用準備が必要です。

● 浸水が想定される
● 2階以上に避難できる

あなたがとる避難行動は

垂直避難

お住いの階で浸水の可能性がある場合は、食料・水・非常用トイレなどの必要な備蓄を持って上層階に避難しましょう。

● 避難行動に時間がかかる
● 高齢者・乳幼児がいる

あなたがとる避難行動は

知人宅へ

安全な地域や上層階に知人宅がある場合は、予報や警報などが出る早いタイミングで備蓄を持って知人宅へ避難しましょう。

● 高齢者・乳幼児がいる
● 共有スペースがある

あなたがとる避難行動は

共有スペース

マンションに避難スペースがある場合は、マスクや消毒用アルコール等の備蓄を持って避難。
 エクシード、浜見平→○ ベルパーク、グランヴァーグ→×

※上記の「あなたがとる避難行動」は目安です。状況に応じて適切な行動をとりましょう。※マンション住民は原則、「垂直避難」です。

あなたがすべき自宅の備えは？

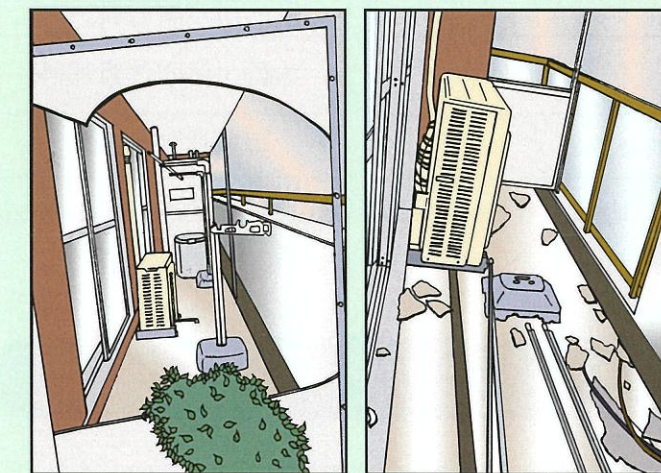
● 窓ガラスの補強

粘着テープを事前に貼る事で、強風によるガラス破損による飛散を防止する効果があります。カーテンも場合によって有効で、更にダンボールやベニヤ板を共に貼れば、飛来物に対する補強効果としても期待できます。



● 非常時の自宅トイレ使用

停電や断水で通常通りに使用できないばかりでなく、洪水時に汚水を流すのは大変迷惑です。流しの水はもちろん、トイレの排水も可能であっても絶対に流してはいけません。日頃から、ポリ袋・凝固剤・殺菌剤などを準備して、時には防災訓練などで実際に使ってみましょう。



● バルコニーの物の片付け

バルコニーは、物の転落防止の為に日頃から整理整頓を心がけるのはもちろんですが、台風など強風が予想される場合は特に注意が必要です。特に植木鉢、物干しざお等は飛ばされると凶器となり大変危険なので、部屋の中に入れましょう。それ意外でも飛ばされそうなものは、固定するか、部屋の中に入れましょう。

※特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼しましょう。

● 避難先での感染症対策

緊急時だからこそその注意は必要です。消毒用アルコールやマスクはもちろん、体温計や救急セットなど下記に示した「緊急持ち出し品」を日頃から準備して、必ず持参しましょう。

停電・断水等に備えた備蓄と非常持出品

家族構成を踏まえて、必要なものを持ち出しましょう。

● 停電・断水等に備えた備蓄の例

災害発生時には停電・断水等が発生することを想定し、生活に必要なものを備蓄しておきましょう。

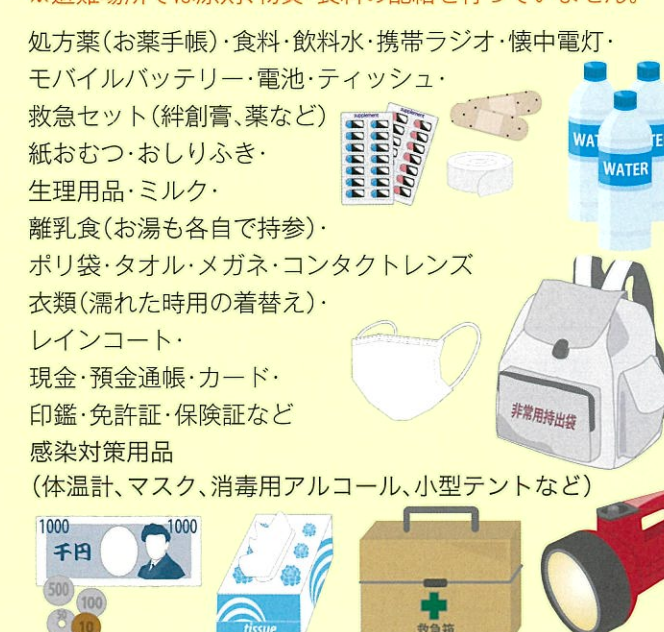
非常食・飲料水・
 携帯ラジオ・懐中電灯・
 LEDランタン・
 モバイルバッテリー・
 電池・ティッシュ・
 トイレトペーパー
 紙おむつ・おしりふき・
 生理用品・非常用トイレ・
 紙皿・紙コップ・ラップ・
 カセットガスコンロ・カセットガス



● 非常持出品の例

避難するときに必要な持出品を確認しましょう。
 ※避難場所では原則、物資・食料の配給を行っていません。

処方薬(お薬手帳)・食料・飲料水・携帯ラジオ・懐中電灯・
 モバイルバッテリー・電池・ティッシュ・
 救急セット(絆創膏、薬など)
 紙おむつ・おしりふき・
 生理用品・ミルク・
 離乳食(お湯も各自で持参)・
 ポリ袋・タオル・メガネ・コンタクトレンズ
 衣類(濡れた時用の着替え)・
 レインコート・
 現金・預金通帳・カード・
 印鑑・免許証・保険証など
 感染対策用品
 (体温計、マスク、消毒用アルコール、小型テントなど)



令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難**で  
危険な場所から避難  
しましょう。



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



### 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



### 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認する必要があります。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。

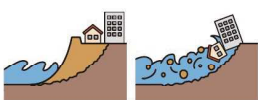


「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります



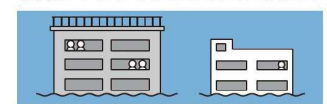
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。